



For Sustainable Development

TAKEEI CORPORATE PROFILE



Only One Earth



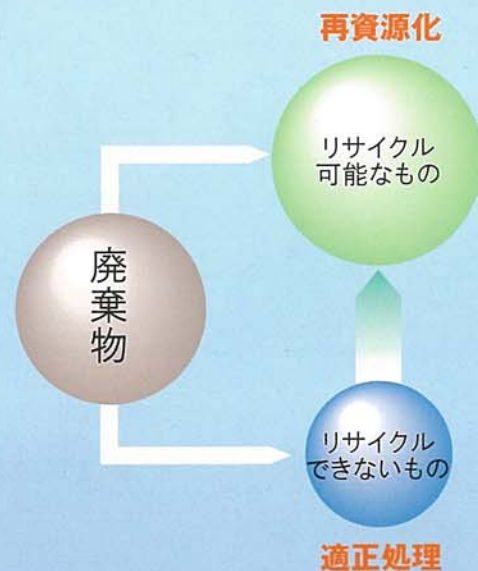
環境を守ることは、未来を守ること。

Contribution for a Sound Material-Cycle Society

人と環境との豊かな共生のために 「資源循環型社会」の創造に貢献します。

「環境の世紀」といわれる今世紀、温暖化防止、自然破壊抑止など、地球規模での環境保全が進められています。また、経済大国としての責務を負うわが国では、「環境にやさしい」産業活動への転換が、「企業の社会的責任 (CSR)」としても、強く求められています。総合廃棄物処理業のリーディングカンパニーとして、長年の実績を重ねるタケエイは、こうした時代の要請に応えるために、お客様から排出された廃棄物を再資源化することで、「資源循環型社会」構築への貢献を目指しています。

特に、廃棄物の再生素材化、さらには、バイオマス発電等の新エネルギー資源化などの事業への積極的な展開を図っています。



※Contribution for a Sound Material-Cycle Societyとは、当社の経営理念である「資源循環型社会への貢献を目指す」という意味です。

※表題、For Sustainable Development とは、「持続可能な発展のために」を意味します。

現代の世代が、環境保全を十分に考慮し、将来の世代の利益や要求を充足する節度ある社会発展を目指す考え方で、環境保全についての基本理念として、国際的に認識されています。

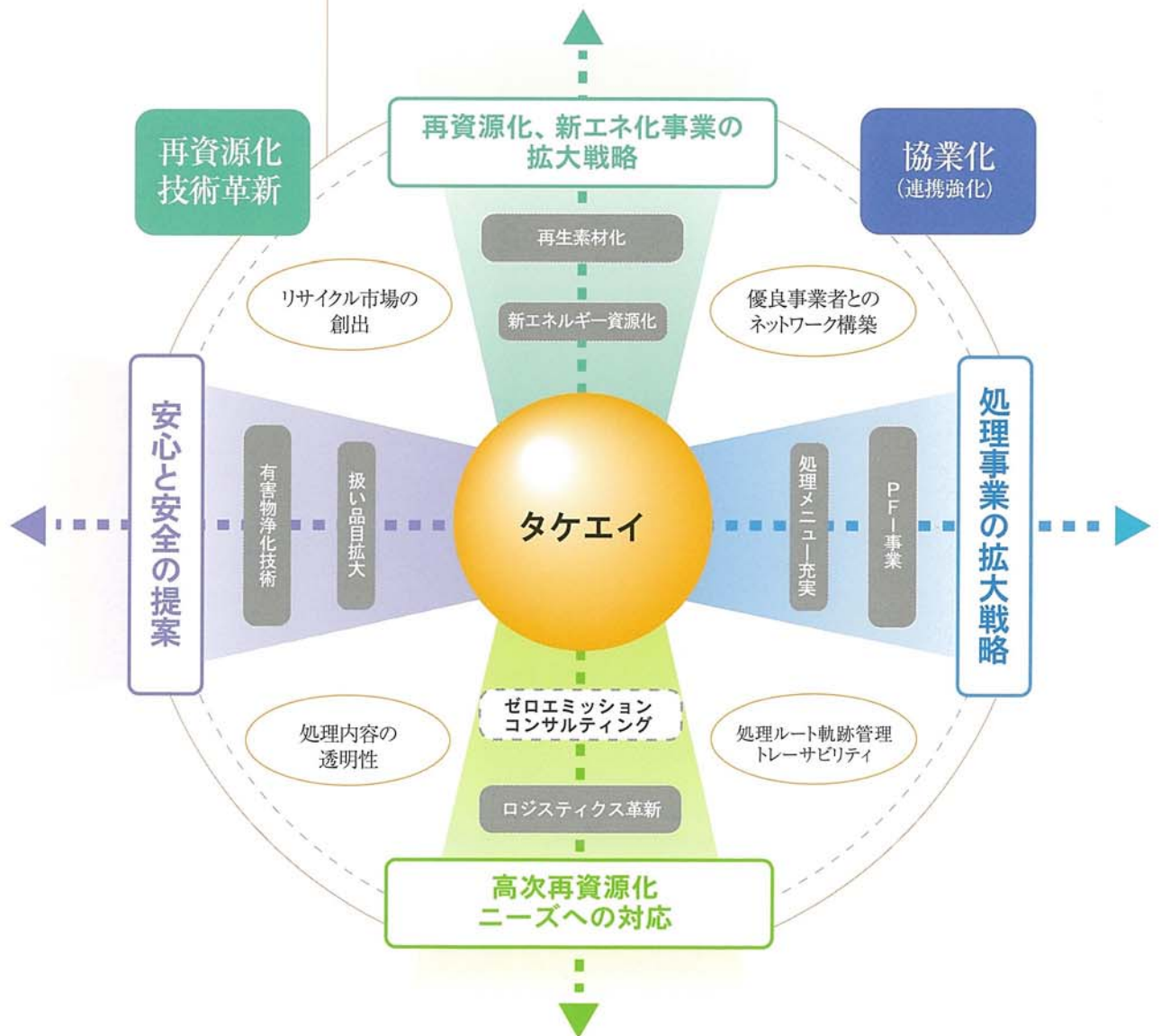


環境ソリューション事業の 多面的拡大イメージ

わが国の物質フロー（ものの流れ）において、総物質（資源）投入量は年間約15.4億tですが、生産物として様々な形で消費、蓄積された後に、不要物として排出される廃棄物は約5.6億tにも上っています。このうち、再生資源としての利用は、約2.3億t（総物質投入量の15%）にとどまっており、資源の循環的利用の促進は、今や国家的な課題となっています（環境省調べ、平成21年度）。

一方で、大規模不法投棄事件の発生が近年続いており、深刻な社会問題としてクローズアップされています。不法投棄に象徴される不適正処理は、自然環境に長期的な悪影響を及ぼす恐れがあります。企業の「拡大生産者責任（EPR）」として、不透明な処理ルートに対しての「産廃リスク」が、ますます高まっています。

このような社会背景に対応し、タケイは、お客様本位の施設整備、処理サービスメニューの拡充を目指し、今後とも、環境に配慮するお客様の良きパートナーとして、より高次の再資源化ニーズへの対応を図ってまいります。



収集・運搬から 再資源化・最終処分まで、 一貫処理システムを実現。

タケエイの一貫処理システムは、1.廃棄物の収集・運搬、2.選別・破碎・圧縮等の中間処理による再資源化・エネルギー化、3.選別残さの最終処分等の3つのステージから構成されています。

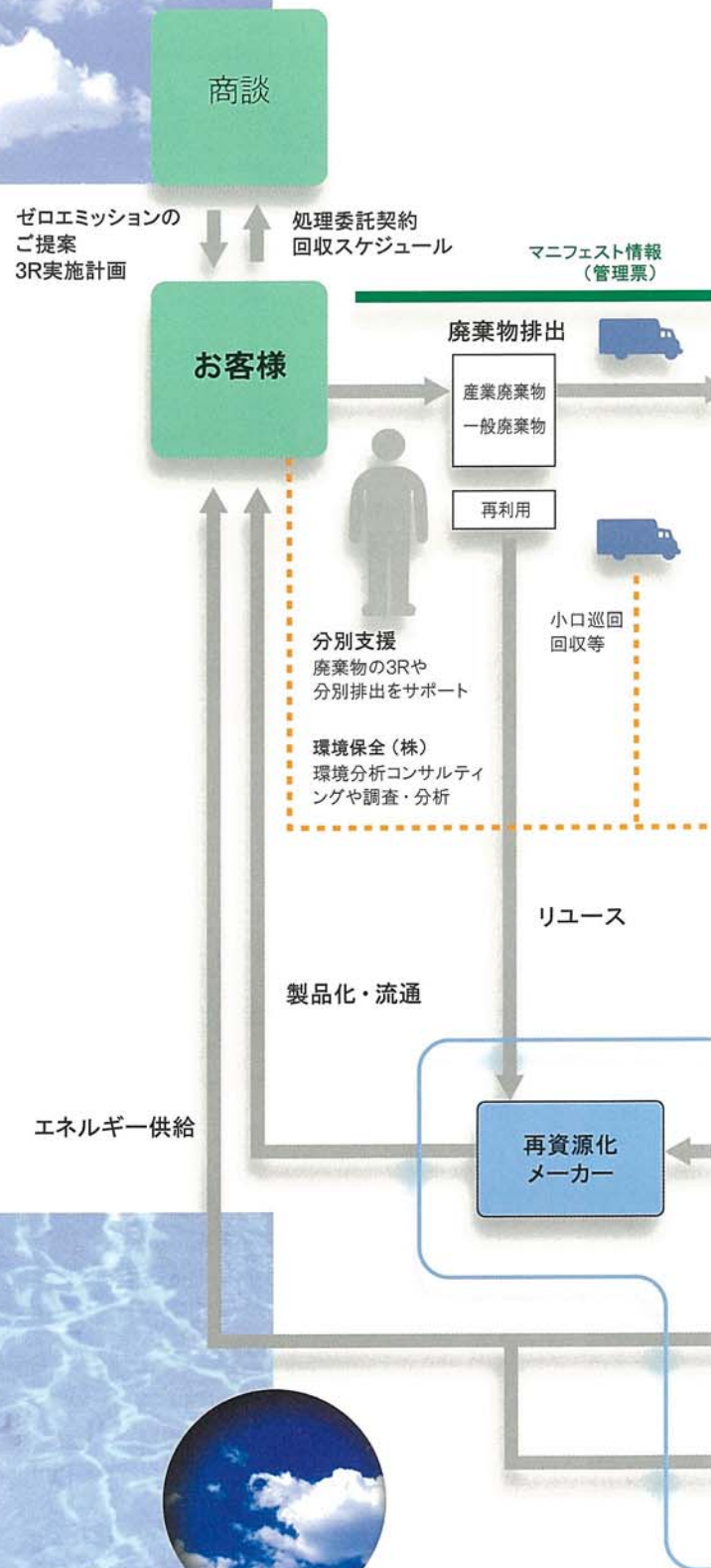
特にリサイクルの要である「再資源化・エネルギー化」では、廃棄物を再生品として蘇らせる「マテリアルリサイクル」と、木質バイオマスや再資源化用可燃物から熱エネルギー等を回収する「サーマルリサイクル」を積極的に推進。協力企業などと幅広く連携しながら、先進的な廃棄物の資源循環システムを構築しています。また、再資源化の困難な選別残さについては、厳格な安全管理体制による最終処分場等で、適正な処理を行っています。

タケエイでは、再資源化に力を入れた高い品質の一貫処理システムを実現することで、お客様にご満足いただける万全の体制を整えています。

主な 事業内容

- 産業廃棄物の収集運搬業、処分業(再生含む)
- 一般廃棄物の収集運搬業、処分業(再生含む)
- 廃棄物処理に関するコンサルティング
- 巡回回収車による産業廃棄物の小口回収
- 巡回回収車による金属・ダンボール・古紙の小口回収
- 廃棄物処理施設に係る企画設計、コンサルティング
および施設の管理運営の受託
- 廃棄物のエネルギー転換、資源化、減量化のための調査・研究、
技術開発
- 廃棄物を原料、燃料とした製・商品の企画開発、加工および販売
- 最終処分場の開発・運営・維持管理
- 総合解体工事業
- 分別容器・用具の販売
- 廃棄物処理実績の分析・管理

顧客(排出)

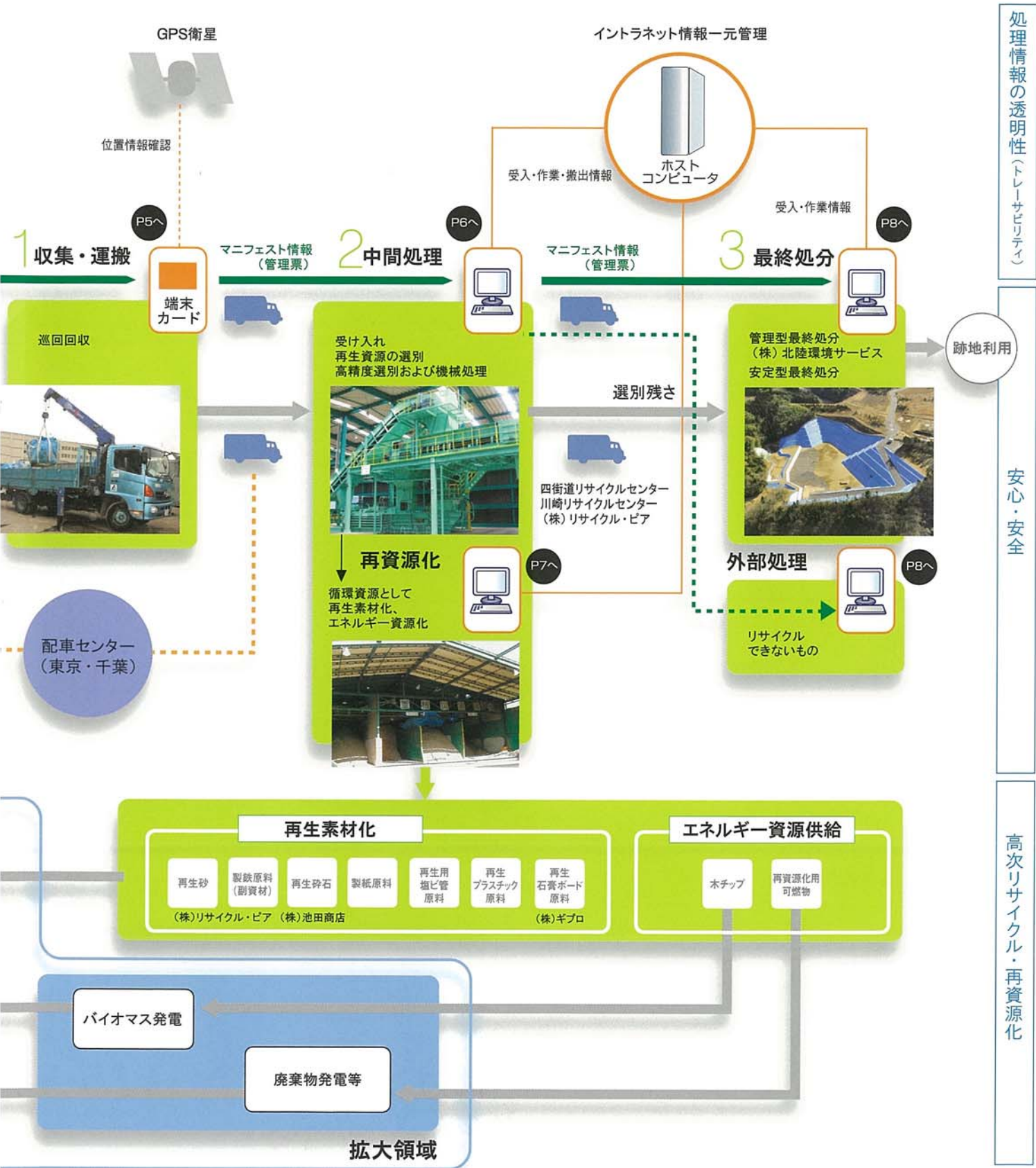




収集・運搬

中間処理・再資源化

最終処分



処理情報の透明性(トレーサビリティ)

安心・安全

高次リサイクル・再資源化



収集・運搬

分別容器のご提案から、 最適な車両の配車まで、 ご要望に合わせた収集運搬作業を行います。

■廃棄物の分別サポート ■廃棄物の回収・積込作業 ■中間処理工場への運搬 ■電子マニフェスト対応

1.

分別容器設置・配車

お客様に廃棄物の保管場所を確保いただき、専用容器への分別をご提案します。回収スケジュールや排出状況に応じた最適な車両の配車を行います。



廃棄物の分別保管



配車センター

2.

回収・積込作業

タケエイの運搬車両が廃棄物の回収に伺います。回収作業は、周辺状況に配慮しながら安全第一で行い、積み込まれた廃棄物の性状等を確認の上、マニフェスト(廃棄物管理票)を受領します。



積込作業



マニフェストの受取・確認

3.

運搬

委託契約に基づき中間処理工場への確な運搬を行います。運搬中は荷台にシートをかぶせ、廃棄物の飛散・落下を防止します。安全運転を心がけ、待機時はアイドリングストップをするなど、環境に配慮しています。



シートかけ



運搬

先進的な物流サービスを目指しています。

運行管理システム・ エコドライブ推進プログラムの活用

タケエイでは、収集運搬に伴う車両運行管理について、業界内でも先進的にIT化(システム化)を進め、個々の乗務員の運行記録を的確に把握し、効率的配車や燃費の向上によるCO₂の削減、適切な運転姿勢評価による安全性の向上を図っています。また、現場レベルにおいても、自主整備・点検の徹底による車両の磨耗低減、エコドライブ活動の推進等に取り組み、燃費向上を通じて地球にやさしい運転を心掛けています。これらの取り組みが評価され、タケエイ物流部門は、環境省並びに独立行政法人環境再生保全機構主催「エコドライブコンテスト」において、優良賞を受賞しました。

乗務員教育の充実

タケエイでは、お客様に最も身近に接する乗務員の業務能力の向上を図っています。例えば、乗務員ハンドブックや、各種の研修を通じて、接客マナーや業務知識のレベルアップを目指しています。また、安全運転については、全乗務員に適正診断を実施し、診断結果の課題について、綿密なフォローを実施しています。



乗務員ハンドブック



中間処理

高精度な選別システムで、 再資源化率を高め、 最終処分量を低減します。

- 受入検査で廃棄物の性状を確認
- 手降ろし、粗選別、ライン選別による再生資源の選別
- 機械選別システムによる高度精選別と再資源化のための機械処理
- 電子マニフェスト対応

1.

受入検査・計量

受入エリアで、マニフェスト(廃棄物管理票)と廃棄物の性状や危険物等の確認を行った後、トラックスケールで計量します。



マニフェスト確認



計量

2.

手降ろし・粗選別・ライン選別

搬入された廃棄物は、手降ろしエリアおよび粗選別エリアでだまかに選別されます。さらにベルトコンベアによるライン選別では、熟練した作業員がきめ細かな選別作業を行います。この段階の丁寧な精選別作業が、リサイクル率の向上につながります。



手降ろしエリア



ライン選別

3.

機械選別システム

前工程を経た細かな廃棄物をさらに選別するために、風力や振動式のふるい機械による選別作業を行います。機械選別システムの工程を経ることで、リサイクル率の向上はもちろん最終処分量の大幅な低減を実現しています。



機械選別設備(1)



機械選別設備(2)

4.

再資源化機械処理

一連の工程によって品目毎に精選別された廃棄物は、再生素材やエネルギー資源として再生品メーカー等へ搬出するために、品質基準に沿って、破碎、圧縮、梱包等の再資源化のための機械処理が行われます。



コンクリート処理施設



木くず処理施設

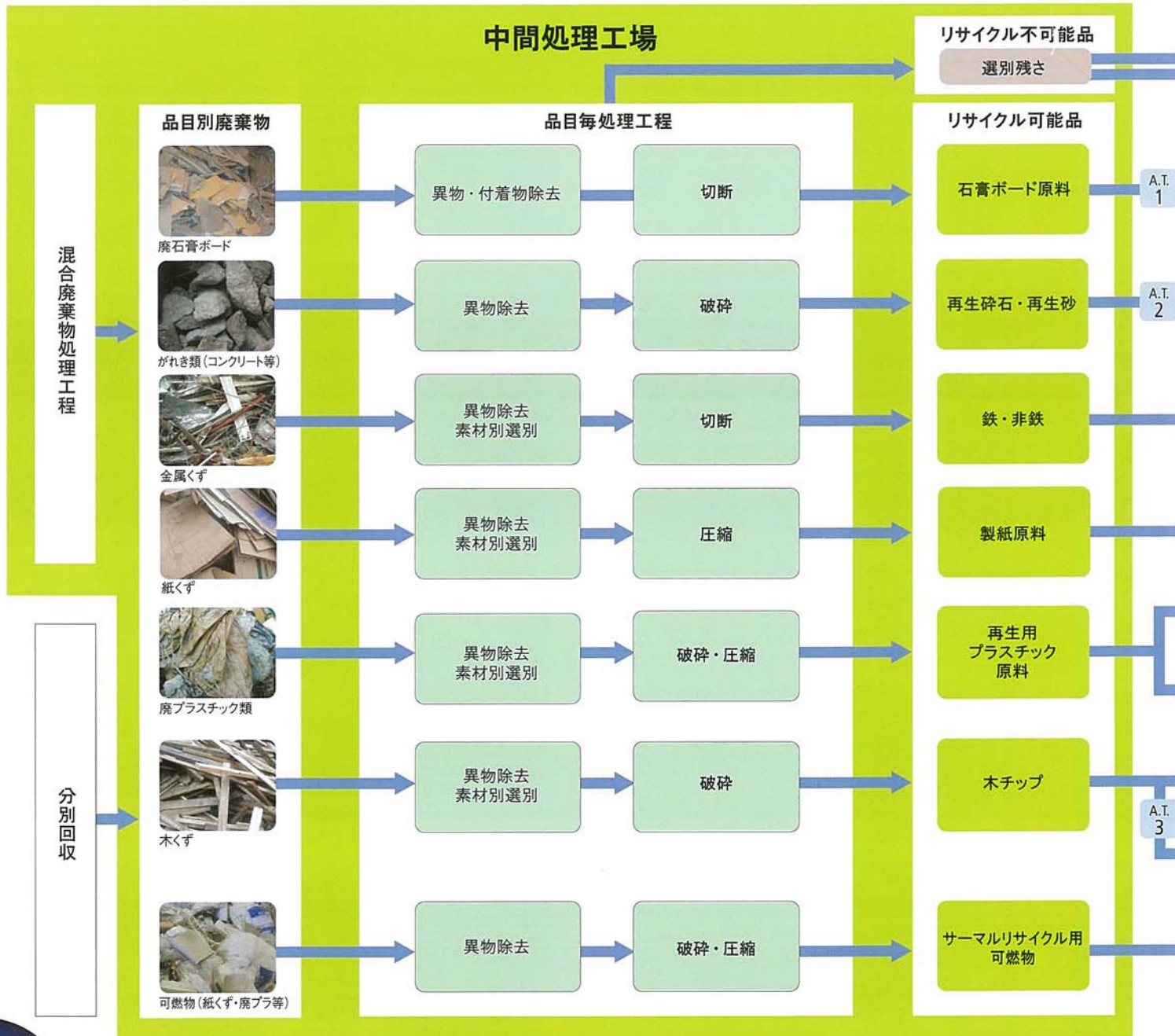


再資源化

多彩な再生技術をさらに究めて 廃棄物の「素材化」「エネルギー化」を すすめてまいります。

品目毎に選別された廃棄物を再生素材化するほか、発電等のエネルギー資源として再資源化します。
タケエイでは、グループ内に石膏ボードなどの再素材化企業を展開しているほか、各再生品メーカーにも幅広く原材料を提供しています。

中間処理工場



A.T. 1

Advanced Trial 1

石膏ボード再資源化

廃石膏ボードから異物除去、石膏粉、剥離紙へ分離することで建材用素材、製紙原料等へ再資源化します。



(株)ギプロ 分別/微粒化装置

A.T. 2

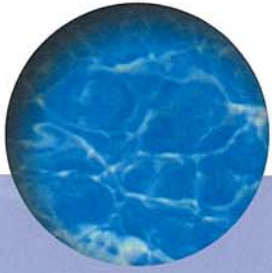
Advanced Trial 2

土石資源再生

中間処理後の不燃残さを磨砕洗浄および比重差選別することで、土石資源として再生します。



(株)リサイクル・ピア 磨砕洗浄設備



3 事業内容紹介

最終処分
(適正処理の完結)

環境負荷を徹底的に抑えた
最高レベルの最終処分を
行います。

再生が不可能な廃棄物は、自社最終処分場で埋立て処分を行います。タケエイでは、環境への負荷を徹底的に排除した最終処分場を管理・運営しており、地域住民の方々からの信頼をいただきながら、安全・確実な最終処分を行っています。

最終処分場



自社最終処分場

外部処理

お客様より委託された廃棄物処理サービスを完結するにあたり、リサイクル不可能な選別残さの二次処理を、廃棄物の性状に合わせて、外部へ委託するケースもあります。外部処理先の選定にあたっては、処理先を厳格に調査・検討しています。選定後も、書類の確認だけでなく、処理工程の現地確認等、定期的を実施しています。

再資源化事業者



石膏ボード



路盤材、埋戻材



銅板、型钢、
棒鋼、非鉄製品



ダンボール



プラスチック製品、
塩ビ管



セメント原燃料、
高炉還元材等



紙製品、
パーティクルボード等



バイオマス発電



ガス化溶融、
廃棄物発電

マテリアルリサイクル

サーマルリサイクル

A.T. 3

Advanced Trial 3

新エネルギー供給

木チップを中心とした新エネルギー資源をバイオマス発電等に安定供給するスキームを構築しています。



循環資源(株)
木チップストックヤード

環境保全への取組み

●ISO認証取得

タケエイは、環境保全への取り組みを確実にするため、1998年に品質マネジメントシステムの国際規格である「ISO9001」、2001年には環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001」の認証を取得しました。



●エコ・ファースト ー環境大臣認定企業ー

タケエイグループは、「業界のトップランナーとして選定された企業が、環境保全に関する行動を更に促進していくこと」を目的として2008年4月に環境省が創設した「エコ・ファースト制度」について、産業廃棄物処理業界における第1号として、2008年11月11日、環境大臣より認定を受けました。





豊富な実績を活かして、 建設現場のリサイクル推進と トータルコスト削減をお手伝いいたします。

分別サポート

「何をどう分別したら良いかわからない」
現場の悩みに、タケエイの分別支援スペシャリストがお応えします。

建設現場のみなさんへ 分別方法の支援活動を行います

廃棄物のリサイクルには、排出元での適切な分別も大切です。タケエイではお客様のご要望により各現場へ分別支援スタッフを訪問させ、「何をどのように分別するか」、建設現場のみなさんに分別方法のデモンストレーション等を行っています。



定期的な勉強会を開き、実際の廃棄物を使った「分別デモンストレーション」などを行います。



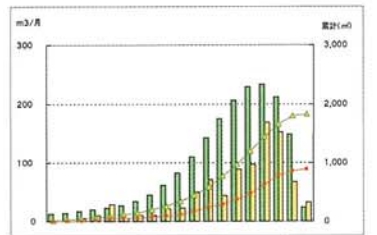
一斉清掃への立ち合い、さらには作業所内を巡回し、各工程に合わせた効率的な分別方法の浸透を図ります。

最適な分別ヤードの提案や、 排出量管理を行います

現場の状況や工程に合わせた分別方法や、ヤードの設置、使いやすい分別容器を提案するほか、日々の排出量を管理し、最適な回収計画を立案します。また、排出量および分別状況の進捗を管理し、トータルコストの削減をサポートします。



正しい分別を促すパネルなども用意し、工程毎に最適な分別方法を提案します。



現場分別による廃棄物削減効果の進捗を管理し、分析データを提供します。

回収サポート

廃棄物の排出量が少ない小規模現場へも、きめ細かく巡回回収をいたします。

リフォームなどの小規模現場でも きめ細かな回収作業を行います

改修工事や、戸建て住宅の建設現場など、品目毎の排出量の少ない現場に対しても、1m³や50ℓ単位の小口容器を準備し、きめ細かな巡回回収を行います。小口分別により、リサイクル率が高まると共に、現場はいつもきれいな状態に保たれ、美観が向上します。



ランニングボックス(1m³) 50ℓ袋



巡回回収システムは、小規模現場に最適な分別容器をご使用いただくことで、現場の分別作業を容易にし、きめ細かな巡回回収を実現しています。

ダンプ、コンテナ車、クレーン車など、 現場状況に合わせた車両で回収します

現場の規模や状況、廃棄物の内容に合わせて、最適な車両で回収作業を行います。約270台の専用車両が機動力を駆使し、お客様のご要望に迅速に対応します。

コンテナ車(2t、4t)



クレーン車(3t、4t、7t、10t)



ハウス専用車



多種、多様な運搬車両を用意しています。



1
施設紹介

中間処理
リサイクル

当社主要施設及び
タケエイグループ会社を
ご紹介いたします。



川崎リサイクルセンター
資源循環型社会を担う
国内最大級のリサイクルセンター

川崎リサイクルセンターは、処理能力3,143t、敷地面積41,056m²を誇る国内最大級のリサイクルセンターです。川崎臨海部に好立地し、24時間365日受け入れのお客様本位の施設体制で、誠心誠意のサービスを提供しています。

場内は、精選別とリサイクルを行う混合廃棄物処理施設と、木くず・金属くず・コンクリートを処理・リサイクルする品目別専用棟に加え、掘り起こし廃棄物を仕分ける専用施設等で構成され、高いリサイクル率を可能としています。

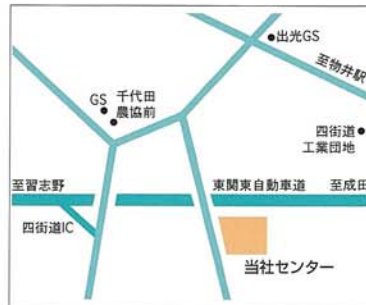
許可番号：川崎市 第05720003455号
処分方法：中間処理 [破碎、破砕・機械選別、破砕・圧縮、圧縮、切断]



四街道リサイクルセンター
再資源化技術の粋を集めた
リサイクルセンター

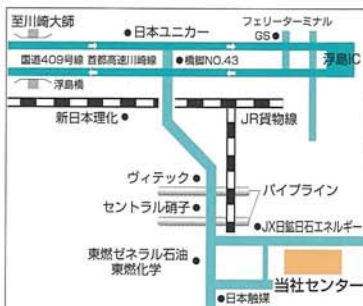
四街道リサイクルセンターは、混合廃棄物処理プラント、木くず破碎プラント、コンクリート再生プラントの3つのプラントからなります。木くず再生プラントでは廃木材をチップ化し、建築用資材原料・製紙用原料・燃料用として再資源化しています。コンクリート再生プラントでは、搬入されたがれき類（コンクリートガラ）を再生砕石に製品化しています。さらに金属プレス機・紙くず圧縮梱包機・風力選別設備等を用い、再資源化を行っています。また、四街道市内で発生する一般廃棄物の不燃ゴミは、当センターでリサイクルしています。

許可番号：千葉県 第01240003455号
処分方法：中間処理 [破碎、圧縮]



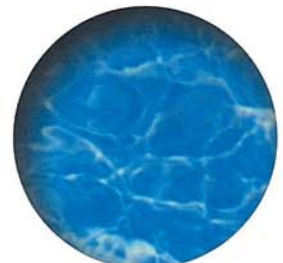
〒284-0021
千葉県四街道市長岡272-1
TEL.043-424-1021
FAX.043-424-1022

JR総武本線
「物井」駅より徒歩約15分
JR総武本線
「物井」駅よりタクシーで約5分
東関東自動車道
四街道ICより約10分



〒210-0862
神奈川県川崎市川崎区
浮島町10-11
TEL.044-280-1531
FAX.044-280-1696

首都高速湾岸線
浮島ICより約2km





施設紹介

最終処分



成田最終処分場

自然環境とのよりよい調和を果たす
品質管理と安全管理

成田最終処分場は、平成21年に最終処分場の許可を取得しました。長年に渡る処分場運営により培われた経験を活かし、将来へ不安を残さない安全性の高い施設運営を行っています。また、常に安全管理技術のレベルアップを図り、品質管理面からも、環境負荷を最小限に抑えた処分場を目指しています。

許可番号：千葉県 第01240003455号
処分方法：最終処分【埋立（安定型）】

〒286-0821 千葉県成田市大室字高台1100-2
TEL.0476-36-6571 FAX.0476-36-6572



平成21年撮影

大木戸最終処分場

大木戸最終処分場は、安全性の高い施設運営に裏付けられる徹底した情報公開や、地域住民との交流を図るなど、処分場におけるモデル的運営に努めています。

許可番号：千葉市 第05530003455号
処分方法：最終処分【埋立（安定型）】

〒267-0057 千葉県千葉市緑区大木戸町1197-5
TEL.043-295-8841 FAX.043-294-2044



平成12年撮影



施設紹介

関係会社

グループ施設の一貫処理および再資源化体制を

タケエイでは、回収から中間処理、しています。また、回収した廃棄物ネットワーク化も進めています。

株式会社リサイクル・ピア

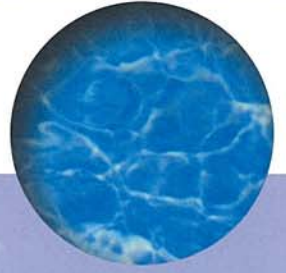
最先端の
廃棄物リサイクル工場

リサイクル・ピア東京エコタウン工場は、東京都スーパーエコタウン事業の選定を受けた最新鋭の廃棄物リサイクル工場です。粗選別の機械（ロールスクリーン式機械選別ライン）化、水だけを使用し磨砕洗浄した砂品の製造、集塵ダストを利用した製鉄副資材（エコフォーム）の製造と、先駆的な素材化工場の役割を担っています。

許可番号：東京都 第1320115462号
処分方法：中間処理【破砕、圧縮梱包、切断、熔融】



〒143-0002
東京都大田区城南島3-4-3
TEL.03-5755-8811
FAX.03-5755-8815



ネットワーク化で、 実現しています。

再資源化、最終処分までを一貫して行う、責任ある事業体制を構築し、
を自社や協力企業のグループ施設等に搬入し、再資源化のための

株式会社北陸環境サービス 厳格な管理型最終処分場運営とリサイクル事業で 環境負荷の低減をめざす

北陸環境サービスは、管理型最終処分場の運営を中心に、収集・運搬から中間処理、最終処分まで一貫した廃棄物処理を行っています。
平成22年には、金沢市で第1号となる汚染土壌処理業の許可も取得しました。

また、再資源化事業（廃プラスチックのリサイクル等）にも積極的に取り組み、資源循環型社会の実現を目指しています。
平成21年タケエイグループの一員となり、営業エリアと受け入れ業種の拡大を推進中です。

許可番号：金沢市 第06042007078号
処分方法：最終処分 [埋立 (管理型)]

本社 〒921-8112 石川県金沢市長坂3丁目1番1号
TEL.076-242-8824 FAX.076-242-8871

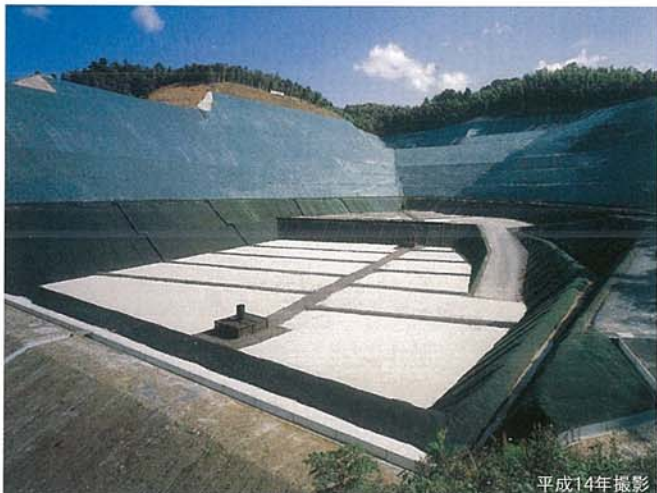
工場 〒921-8121 金沢市平栗ヨの部 (処分場/カの部)
TEL.076-242-6800 FAX.076-247-6933



収集・運搬車両



中間処理施設



平成14年撮影

管理型最終処分場

株式会社ギプロ 国内最大級の 廃石膏ボードリサイクル工場

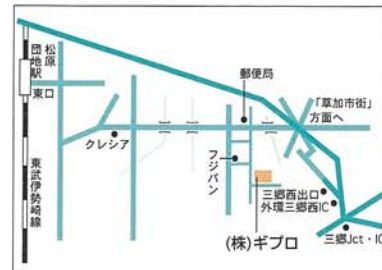
ギプロは、ゼネコン・石膏ボードメーカー・廃棄物処理会社など9社の出資により、国内初の大量受入可能な廃石膏ボードリサイクル会社として、平成14年に設立されました（現在の株主は8社）。

廃石膏ボードリサイクルの専門工場としてだけでなく、メーカー・ユーザー・処理業者が参加する先進的な協業モデルとして、資源循環の好例となっています。

許可番号：埼玉県 第01120105053号
処分方法：中間処理 [破砕]
廃棄物再生事業者登録：埼玉県 VII-33 (廃石膏ボードの再生)



株式会社ギプロ



〒340-0807
埼玉県八潮市新町32
TEL.048-933-2181
FAX.048-933-2182





グループ施設のネットワーク化で、一貫処理および再資源化体制を実現しています。

関係会社

諏訪重機運輸株式会社

地域に根ざした
環境先進企業をめざす

諏訪重機運輸は、廃棄物処理業、建築解体業を中核事業として、諏訪市を中心とする長野県中南信地域で事業を行っています。平成23年にタケエイグループの一員となり、さらに、事業エリア拡大と、増加する解体工事の際に発生するコンクリートがら等をリサイクルするため、安曇野市に本社をおく橋本建材興業を平成24年にグループ化しました。

許可番号：長野県 第2042006557号
処分方法：中間処理、最終処分
一般建設業 認可（土木工事業）：（般-14）第12626号 とび、土工工事業

本社	〒392-0009
中間処理工場	長野県諏訪市大字上諏訪字船渡川西1749 TEL.0266-58-0022 FAX.0266-58-7122
安定型最終処分場	〒399-0723 長野県塩尻市大字旧塩尻字東山931-1
松本支社	〒390-0862 長野県松本市宮淵3-5-2
〔関係会社〕	
橋本建材興業(有)	〒399-7104 長野県安曇野市明科七貴8910 (再生骨材・再生砕石の生産・販売、砂利採取、浚渫事業)



中間処理工場



安定型最終処分場

環境保全株式会社

迅速・高精度な計量証明で
地球環境保全に貢献する

廃棄物の適正な処理と再資源化は、正確・確実な分析から始まります。環境保全は、豊富な実績と高い分析力により再資源化をサポートします。

平成20年にタケエイグループとなり、平成23年には仙台支店を開設するなど、営業エリアを大幅に拡大。自治体向けの水質分析だけでなく、土壌、廃棄物、アスベスト分析などあらゆる環境分析に対応しています。



- 事業登録：
計量証明事業（濃度・特定濃度・騒音レベル・振動加速度レベル）、作業環境測定機関、水道法20条登録検査機関、建築物飲料水検査業、温泉成分分析機関
- 認定：MLAP（認定特定計量証明事業者） ほか

本社 分析センター	〒036-0164 青森県平川市松崎西田41-10 TEL.0172-43-1100 FAX.0172-43-1166
東京支店	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 A-10階 TEL.03-6361-6854 FAX.03-6361-6835
仙台支店	〒984-0002 宮城県仙台市若林区御町東1-3-12 TEL.022-781-5404 FAX.022-781-5405

株式会社池田商店

30余年の実績
再生骨材・再生砕石への再資源化工場

池田商店は、昭和49年の創業以来、コンクリート・アスファルト等のがれきを再生骨材・再生砕石へ再資源化する事業に取り組んでいます。平成20年、タケエイグループの一員となり、横浜市内陸部という好立地を活かし、お客様の多様なニーズに対応できる体制を整えています。

許可番号：横浜市 第05620020263号
処分方法：中間処理〔破碎、分級〕 ※鉱さい受け入れ可



株式会社池田商店 横浜工場



〒241-0802
横浜市旭区上川井町2446
(横浜工場)
TEL.045-921-6377
FAX.045-921-6381

株式会社アースアプレイザル

環境に関連するあらゆる技術とノウハウで
人と社会に貢献する

アースアプレイザルは、汚染土壌調査・アスベスト調査等の環境コンサルティング事業、資産除去債務等のコンサルティング事業、不動産鑑定業を中心に、首都圏をはじめ全国規模で事業展開しています。アースアプレイザルの参画により、タケエイグループは、環境ソリューション事業において川上となる調査部門から川下の措置対策、ひいてはお客様の課題解決といった、一貫したサービスが可能となりました。

- 主なサービス：
- | | |
|---------------|-------------|
| 環境デューデリジェンス | 資産除去債務 |
| 地歴調査 | 不動産鑑定 |
| 土壌・地下水調査/対策 | エンジニアングレポート |
| アスベスト調査/管理/対策 | 建築設計 |

本社	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-4-6 TEL.03-5298-2151 FAX.03-3252-5411
----	---





株式会社金山商店

鉄・非鉄スクラップ等の
リサイクル

金山商店は、建築現場や製造工場から発生する鉄・非鉄スクラップ、廃プラスチック、廃自動車のリサイクル業を中核事業として、静岡県を中心に長年に渡って事業を行っています。適正処理と再資源化技術の向上を目指して、収集・分別・加工から出荷・販売まで、ワンストップサービスに取り組んでいます。

タケエイグループの『金属リサイクル品の付加価値化』、東海地域という『新たな事業エリアへの進出』を目指し、平成25年にグループの一員として迎えました。

許可番号：静岡県 第06222047251号
処分方法：中間処理〔圧縮、切断、破砕〕

〒421-1212
静岡県静岡市葵区千代512-3
TEL.054-277-0202 FAX.054-277-0212



株式会社東海テクノ

お客様のサステナビリティ経営『環境』を
『はかる』・『まもる』・『つなぐ』技術力と提案力で支援

東海テクノは、三重県四日市市に本社を置き、東海地区全域において水質・土壌・大気等の調査・分析をしています。昭和47年に大気汚染防止法に基づけばい煙測定業務を開始し、今日までの長きに渡って信頼と実績を積み重ねてきました。

東海地区における主要工業地帯である四日市市内の製造業を中心とした民間企業を数多く顧客に抱えています。

■事業登録:

計量証明事業所(濃度・騒音・振動)、環境省土壌汚染対策法
指定調査機関 ほか

■認定:MLAP(認定特定計量証明事業者) ほか

本社	〒510-0023	三重県四日市市午起2-4-18 TEL.059-332-5122 FAX.059-331-2289
四日市分析センター	〒510-0023	三重県四日市市午起1-2-15
松阪分析センター	〒515-0014	三重県松阪市若葉町92-1

〔関係会社〕

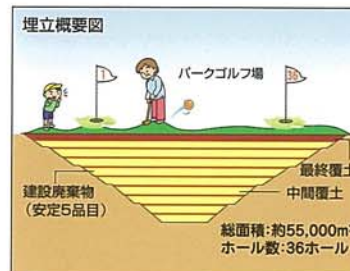
東海(天津)環境科技有限公司
中華人民共和国 天津経済技術開発区奥運路11号

株式会社タケエイエナジー&パーク (タケエイエコパークゴルフ大木戸)

パークゴルフ*を通じて
コミュニケーションや健康づくりの場を提供

タケエイエコパークゴルフ大木戸は、かつて、徹底した品質管理のもと、タケエイが自ら適正かつ無害に処理した廃棄物を埋め立てた安定型最終処分場の跡地です。平成21年、スポーツ・レジャー施設としてリニューアルしました。

また、タケエイエナジー&パークでは、成田市の安定型最終処分場跡地において太陽光発電事業にも取り組んでいます。



※パークゴルフは北海道発祥のゴルフ風スポーツ。大人から子供まで、どなたでも一緒に、手軽に楽しめます。

〒267-0057
千葉県千葉市緑区大木戸1172-3
(千葉外房有料道路大木戸料金所先約2kmで直接コースに入れます。)

TEL.043-205-2760
FAX.043-205-2761

クマケン工業株式会社

緑の大地、きれいな水、すんだ空気
きれいな環境をみんなのもとへ

クマケン工業は、『地球環境の保全と復元』をテーマに環境修復技術の開発を行っています。これまで、各種有害汚染土壌処理剤の開発、製造販売及び措置対策工事を通じた土壌汚染対策のほか、土壌・水溶液中の重金属類等の有害物質を不溶化する粉末の技術開発にも力を入れています。

独自開発の『スーパーソリウエルパウダー』は、汚染水・汚染土壌中の放射性セシウムを不溶化する効果を有し、その実用化に関して各方面から注目を集めています。

■主なサービス:

各種有害汚染土壌処理剤の開発、製造及び販売・施工
※環境省土壌汚染対策法に基づく指定調査機関
(指定番号:環2008-2-1)

本社	〒013-0051	秋田県横手市大屋新町324-8 TEL.0182-33-3098
環境事業本部	〒013-0048	秋田県横手市安田原町 クマケンビル
横手工場・研究室	〒013-0043	秋田県横手市安田台1-1



株式会社タケエイ

〒105-0011
東京都港区芝公園2丁目4番1号 A-10階
TEL.03-6361-6830 (代)
FAX.03-6361-6835

TAKEEI CORPORATION
A-10F, 2-4-1 Shiba-Koen, Minato-ku, TOKYO 105-0011, JAPAN
TEL.+81-3-6361-6830 FAX.+81-3-6361-6835

<http://www.takeei.co.jp>



わたしたちは、環境先進企業として、環境省と環境保全のお約束をしました。

この会社案内に使用している用紙は、FSC認証林および管理された森林から製品化されたFSCミックス認証紙を用い、また森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。インキには有害なVOC(揮発性有機化合物)を排除し、ほぼ100%植物油を材料としたベジタブルインキを使用、印刷方式にはアルミ版をリユースする「マイナスカーボン・プリンティングシステム」を採用しています。



この会社案内は、株式会社タケエイが、印刷プロセスで使用する5.85kgのアルミ版をリユースする事で、**CO₂排出量を59.52kg削減しました。**

当CO₂削減認証は株式会社日本スマートエナジーがこの印刷システムを審査・確認して与えられたものです。

MCP
MCP (MCP)

59.52のCO₂削減量とは
樹齢50年(高さ22m・直径28cm)の杉の木約4.27本分が1年間に吸収するCO₂量に相当します。
(出典：林業白書)

株式会社タケエイは、MCPによる印刷を通じ、インドネシア・バリ州の森林再生事業(国立公園内の植樹)に参加しています。